

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 366

2022年4月1日発行／みやぎ憲法九条の会

Home Page <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

全国首長九条の会のホームページができました。ご紹介します。

「全国首長九条の会」 <http://kubicho9jo.com/wp2/>

憲法改悪をゆるさない全国署名(3/29 現在)

県民運動推進連絡会みやぎ集約：695筆

コロナ感染の爆発的拡大の中で戸別訪問での署名集約が難しいことに鑑み、ポストインで9条改憲NO！を訴えられる署名欄付きハガキを作成しました。

署名用紙ともども増刷りをしています。宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数お送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

みやぎ憲法九条の会： 〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト4F

☎022-728-8812 mail:info@9jou.jp

*署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしく願いいたします。



宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。

実施日：4月は5日、12日、19日、26日。5月は10日、17日、24日31日。

4月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

- 仙台市：4月19日（火）12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁平和ビル前
- 石巻市：4月19日（火）15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：4月19日（火）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：4月19日（火）13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：4月19日（火）11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：4月19日（火）13:00～ 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：4月19日（火）15:00～15:30 場所：岩沼駅前

4月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キツカりに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- 名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近
- 涌谷町：涌谷公民館前交差点
- 宮城野区：坂下交差点
- 小牛田：国道108号山の神神社前交差点

4月の「9の日行動」

・「9の日行動」は憲法九条の改憲を許さないと市民に訴える活動で「加美九条の会」も継続している活動です。9日、19日、29日のいずれかの日を選んで毎月継続して実施しています。

- 加美：4月19日（土）7時30分～ 場所：加美町中新田矢越交差点

【これからの県内催事情報】

みやぎ 2022 市民の憲法行事 講演

国軍クーデターから 1 年ミャンマーは今 . . .

—日本の民間支援は慈愛と希望の光—

国軍によるクーデターに抗議するミャンマーの人々を支援しようと、ミャンマー国境地域史が専門の今村教授らが立ち上げたクラウドファンディングに1カ月間で目標の10倍を超える5500万円が集まりました。支援を知ったミャンマー人から「日本の友人が見せてくれた慈愛と慈悲は一筋の希望の光です」との感謝のメッセージ。今村真央教授に聞く。

日時：4月2日（土）14：30～

会場：エルソーラ28F大研修室（仙台市青葉区中央1-3-1 アエル28階）

講師：今村真央さん（山形大学人文学部教授）

資料代：500円 予約不要、どなたでも参加できます。

*会場ではマスク着用をお願いします。

主催：宮城県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（宮城 AALA）

連絡先：090-2369-6186（小林立雄）

講演はリモート（ZOOM）でも聴けます。

ミーティング ID：829 013 5958

パスコード：5cEyEc

シンポジウム 「Z世代の若者たちが見た格差社会の現実」

「水なきや生きていけないでしょ」プロジェクトからの報告

「水なきや生きていけないでしょプロジェクト」は、NPO法人 posse とフードバンク仙台で活動するZ世代のボランティアが立ち上げました。今年1月、フードバンク仙台に料金未納で水道を止められたというAさんからの支援依頼がありました。日頃より貧困があらゆる世代に広がっていることを実感していた中、この事例を受けて立ち上げられたのが「水

なきゃ生きていけないでしょプロジェクト」です。Z世代とは1990年代中盤から2000年代序盤頃に生まれた世代。

日時：4月3日（日）14:00～16:00 自分たちの手で社会は変えられるという希望を！

会場：日立システムズホール(青年文化センター)エッグホール

PART 1：プロジェクトの皆さんからの報告

PART 2：クロストーク

プロジェクトの皆さん、議員の皆さん、市民連合、フロアの皆さん

zoomからのご参加は

<https://us02web.zoom.us/j/89057884765...>

ミーティング ID 89057884705

パスコード 497854

主催：市民連合みやぎ 連絡先：080-1673-8391(多々良)

*会場ではマスクつけてご参加ください。

宮城の水道が危ない！

ストップ！水道民営化市民集会

向こう20年間(2042年3月31日まで)宮城県の水道事業は、外資(水メジャー企業ヴェオリア社)が牛耳る民間企業が無競争状態で運営することになります。水道料金はどうか？水質は変わらない？災害対応は大丈夫？・・・県民の不安や疑問は尽きません。

日時：4月9日（土）13:30～15:30

会場：仙台弁護士会館4Fホール

資料代：500円

Part 1 講演

演題：「全国の水道民営化・広域化の現状と問題点ー広域水道に住民の声は届かない」

講師：近藤夏樹さん(名古屋水道労働組合中央執行委員長、自治労連公営企業評議会事務局長)

Part 2 報告と討論

★「宮城県の水道民営化の現在地点」一命の水を守る市民ネットワーク・みやぎ報告

★参加した議員、市民を交えての討論

主催：命の水を守る市民ネットワーク・みやぎ

連絡先：仙台市国分町 1-8-10 大和ビル 2F 佐久間敬子法律事務所事務所

電話：022-267-2288 Fax：022-225-5704

*会場ではマスクつけてご参加ください。感染対策にご協力ください。

*ZOOMでも参加できます。参加 URL は命の水ネット Facebook でご確認ください。

戦争を語り継ぐ上映会（4月）

「日中戦争 兵士は戦場で何を見たのか」

～満州から中国全土への侵略を企てた果てに～

1937年、盧溝橋で始まった日中戦争。兵士たちは「中国は一撃で屈服する」と聞かされ戦地に向かった。しかし、待ち受けていたのは徹底抗戦の覚悟をした屈強な中国軍だった。次々と傷つき倒れていく日本兵。しかし日本の軍中央は甘い見通しから派兵を繰り返す。そして短期決戦を目指した日本の思惑とは裏腹に戦局は泥縄化していく。初公開の兵士の陣中日記や証言を中心に、局地的衝突が全面戦争化していく過程を描く。

■同時上映 「戦争と平和に関するニュース・報道番組から」（20分前後）

日時：4月14日（木） 13:00～15:10 （参加費：無料）

会場：泉病院友の会・第2会議室（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

主催：泉病院友の会平和の委員会

申込先：泉病院友の会 378-3883 定員10名（要事前申込）

*ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。感染症状況により中止となる場合も。

吉野作造記念館 2021年度後期企画展

「公文書で見る明治時代のみやぎ」

近年公文書の保存、管理が問題になっています。公文書は国民の知る権利を保障するとともに、歴史記録を後世に伝える民主主義の重要な財産です。しかし、実際のところ、公文書とはどんなもののでしょうか。この機会に考えてみませんか？

日時：3月13日（日）～4月24日（日）

会場：吉野作造記念館企画展示室

宮城県大崎市古川副沼一丁目2番3号 0229-23-7100

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎週月曜日

入館料：一般500円、高校生300円、小・中学生200円

企画展記念講演会

日時：4月16日（土）14:00～（展示解説会13:00～）

講師：加藤諭さん（東北大学資料館准教授）

テーマ：「公文書の意義と公文書館の役割」

申込：要予約（記念館の電話からお申込みください）

【県内九条の会の活動】

STOP！改憲発議「憲法改悪を許さない全国署名」推進集会

改憲派の「黄金の3年」か、改憲阻止の「黄金の3年」か

3月21日（月・祝）にシルバーセンター第一研修室で開催されました。講演をしてくださった総がかり行動実行委員会の高田健共同代表が3月16日の地震で新幹線が利用できずやむなく「ZOOM」で講演していただきました。ZOOM参加21ヶ所、会場参加65人でした。

高田さんは「かつてない『改憲の危機』の到来」として自民党岸田首相の「改憲論議盛り上げ」の発言とともに、ロシアのウクライナ侵略を受けて急激に高まる改憲論議に触れて、九条に対する一斉攻撃（9条では国を守れない）と「軍事力」拡大の正当化。安倍発言：核シエアリング、非核3原則の放棄。ミサイル攻撃への敵基地攻撃能力「打撃力」保有等の議論が急速に広まっている指摘しました。

そして、宏池会の岸田文雄会長が21年自民党総裁選で安倍路線を受け入れ。岸田政権の危険な2つの顔。米国の「自由で開かれたインド・太平洋」と、中国の「一帯一路」の衝突の時代に米国と同盟して覇権を争う道を驀進する安倍・菅・岸田路線について触れつつ、ここ3年間は正念場となる。

①岸田政権の「戦争のできる国」づくりは従来の日本政府の「専守防衛」や「日米安保体制の枠組み」も底が抜ける。「日米軍事同盟の新しい段階」に至っている。立憲主義の立場に立つなら、最低限、安保法制の変更の前（専守防衛）までもどることが重要。

②岸田明文改憲は、「戦争できる国」づくりのために既成事実化されている安保法制の下で進められている「実質改憲」を明文で合憲化するもの。

③22年7月の参院選のあとは、よほどのことがない限り、25年まで大きな国政選挙がない（権力にとって、「黄金の3年」）。岸田はこの時期に、維新の会を先鋒とし、野党の共同を分断し、改憲論議を起こし、改憲発議を行い、改憲国民投票を実施したい。

④自民党の憲法改正実現本部（古屋圭司本部長）は全都道府県での「憲法集会」を企画するなど、世論を準備し、安倍改憲の失敗の轍を踏まない準備をしつつある。

私たちが草の根の運動で「戦争する国」づくり反対、改憲反対の世論をつくり、「世論の壁」を築き、明文改憲を阻止できるかどうか、「憲法改悪を許さない全国署名」運動など、今後のたたかいにかかっている。改憲派の「黄金の3年」か、改憲阻止の「黄金の3年」か鋭く問われている結びました。

加美「9条の会」

「9の日スタンディング」

加美「9条の会」（代表大窪豊さん）が恒例の「9の日」宣伝でスタンディングをしウクライナに平和を、平和憲法を守れを訴えました。

3月29日（火）7時30分から30分間、加美町の矢越交差点で会員7名でのぼり旗や横断幕を掲げて市民と道行くドライバーに訴えました。マイクで訴えたのは菅原さん、ロシアのウクライナ侵略



は国連憲章を蹂躪し、国際法違反するものと指摘、直ちにウクライナから撤退するよう求めました。そして、この侵略を機会に「抑止力」として敵基地攻撃能力保有や核兵器の共有をいう自公や維新の会は憲法9条をないがし、9条改憲を進めようとするものだと糾弾しました。平和憲法を施行し、75年間戦争によって一人も殺し殺されなかったことは誇りであり、これからも平和な世界とするべく頑張ろうと呼びかけました。（佐藤修司記）